

「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
 (一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

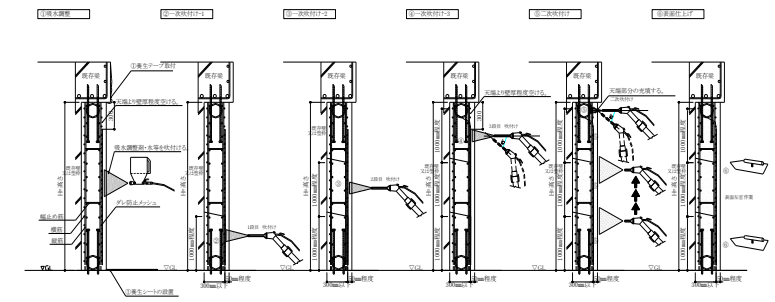
ブロック壁 駐車禁止 居ながら 工期短縮 型枠撤入制限

CASE 3



計画では既存壁(ブロック壁)を撤去し、在来工法でRC壁を新設を検討するも、オーナー様より外壁の蔭を残してほしいと要望があり、既存ブロック壁の倒壊防止措置が困難な為、AP工法が採用された。

テナントビル●東京都
 既存ブロック壁への増し打ちを行った
 耐震改修事例①



▲AP工法施工概略図

AP工法協会
 TEL: 03-6701-1371
 FAX: 03-6701-1376

DATA
 築年数: 築〇〇年()
 構造・規模: RC造(地上〇階建て)
 施工数量: 約9.0㎡(壁3カ所)
 吹付け厚: 300mm
 工事期間: 10日

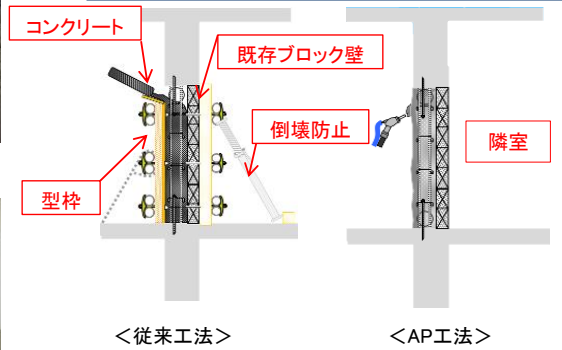
「AP工法」—アフタープロテクションによる湿式吹付耐震補強工法—
 (一財)日本建築防災協会の技術評価を取得(建防災発第16020号)

ブロック壁 駐車禁止 居ながら 工期短縮 隣室への入室不要 型枠撤入制限

CASE 4



本施工事例は既存ブロック壁の隣室が使用されている場合で既存ブロック壁の補強や、隣室の仕上げ材の撤去、隣室への仮囲いの設置が必要であったがAP工法により上記省略と工期短縮が実現した。



▲施工後

AP工法協会
 TEL: 03-6701-1371
 FAX: 03-6701-1376

DATA
 築年数: 築〇〇年()
 構造・規模: RC造(地上〇階建て)
 施工数量: 約3.3㎡(壁2カ所)
 吹付け厚: 300mm
 工事期間: 〇〇日

テナントビル●東京都
 既存ブロック壁への増し打ちを行った
 耐震改修事例②